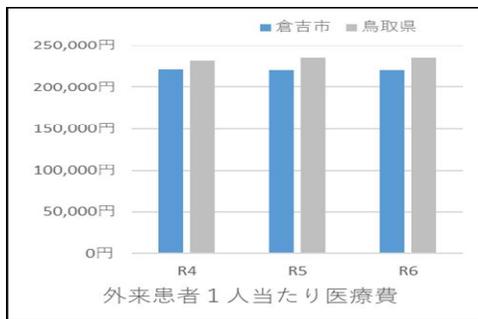
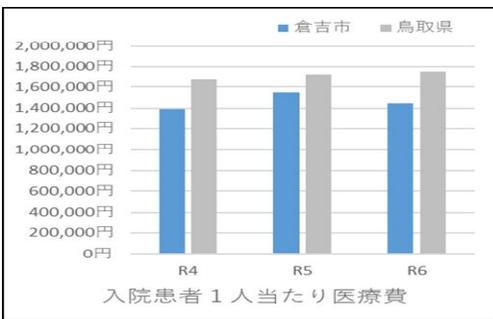


# 倉吉市 健診・医療の状況

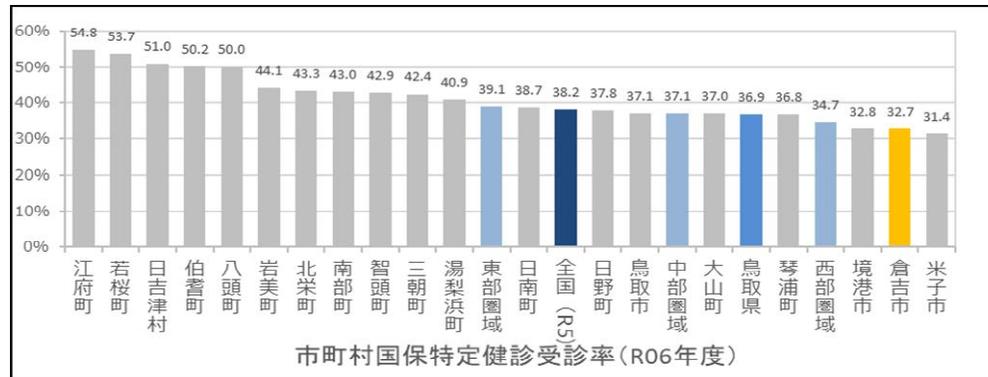
## 医療費の状況について

- 患者一人当たり医療費は、入院、外来ともに県平均よりも低い。
- 経年的に横ばいで推移している。



## 特定健診の状況について

- 令和6年度の特定健診受診率は、県内で2番目に低く、県平均とは4ポイントの乖離がある。

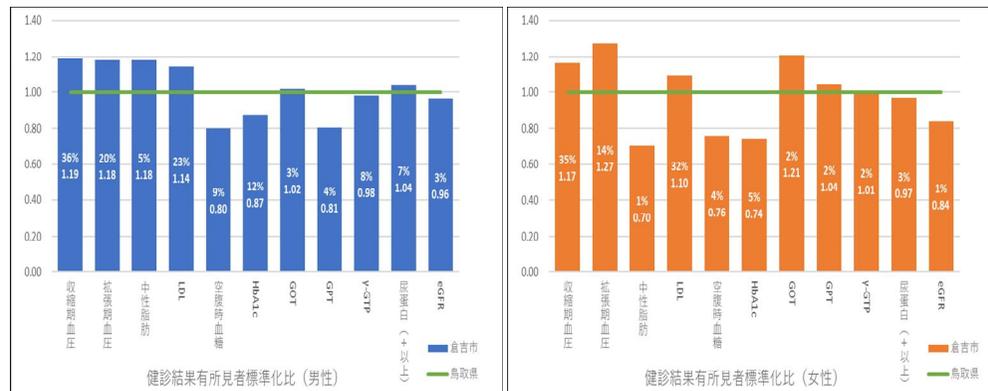


## 疾病中分類の医療費・患者数について

- 「骨折」が入院医療費、患者数ともに上位3位以内に入る。
- 入院医療費、患者数では「脳梗塞」、外来医療費、患者数では「生活習慣病（糖尿病、高血圧性疾患）」が上位に入る。

順位	疾病中分類 (入院医療費 上位10位)	入院医療費	入院患者数
1	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	73,306,307円	37人
2	1302 関節症	57,811,970円	32人
3	1901 骨折	51,301,580円	45人
4	0906 脳梗塞	46,893,157円	30人
5	0504 気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	45,279,403円	34人
順位	疾病中分類 (外来医療費 上位10位)	外来医療費	外来患者数
1	1402 腎不全	192,016,510円	98人
2	0402 糖尿病	159,132,040円	972人
3	0901 高血圧性疾患	108,219,790円	1,607人
4	0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	65,270,120円	274人
5	0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	62,278,787円	59人

- 健診結果から「血圧」の有所見者割合が男女ともに、県平均より高い。(男性においては、「脳卒中」「虚血性心疾患」の有病率が、県平均よりも高い。)



- 骨折予防のための転倒予防や骨を強くする運動習慣事業の推進等が重要だと考えられる。
- 生活習慣病予防に加え、定期受診や特定健診、がん検診の推進による重症化予防が重要であると考えられる。

- 生活習慣病や生活習慣病予備群、脳卒中等の大きな病気を未然に防ぐためには、引き続き、特定健診受診率の向上対策に取り組むことが重要だと考えられる。
- 生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるためにも、若年層からの生活習慣の改善に取り組むことの重要性を啓発することができる。